

1 調査名称：防府都市計画道路見直し調査

2 調査主体：防府市

3 調査圏域：防府都市圏

4 調査期間：平成25年度

5 調査費：4,599千円（当年度までの合計：4,599千円）
（総合都市交通体系調査）

6 調査概要

現在、本市においては、約125kmの都市計画道路を決定しているが、約48%が未整備で、その多くが計画決定から30年を経過している。

本調査は、現在未整備である路線を対象に、平成18年3月に山口県が策定した「都市計画道路の見直し基本方針」に基づき、上位計画との整合、道路に求められる多様な機能、路線または区間を廃止した場合の道路の連続性、機能を代替する路線の有無、個別課題を検証し、その必要性について総合的に評価を行った。

I 調査概要

1 調査名

防府都市計画道路見直し調査

2 報告書目次

1 業務概要

- 1-1 業務名
- 1-2 業務箇所
- 1-3 履行期間
- 1-4 業務内容
- 1-5 業務実施フロー

2 資料収集整理

- 2-1 資料収集
- 2-2 資料整理

3 都市計画道路の課題の整理

- 3-1 全国の社会情勢
- 3-2 防府市の現況
- 3-3 都市計画道路の現状
- 3-4 都市計画法第 53 条第 1 項に基づく許可申請の状況
- 3-5 土地利用状況
- 3-6 課題

4 交通量調査

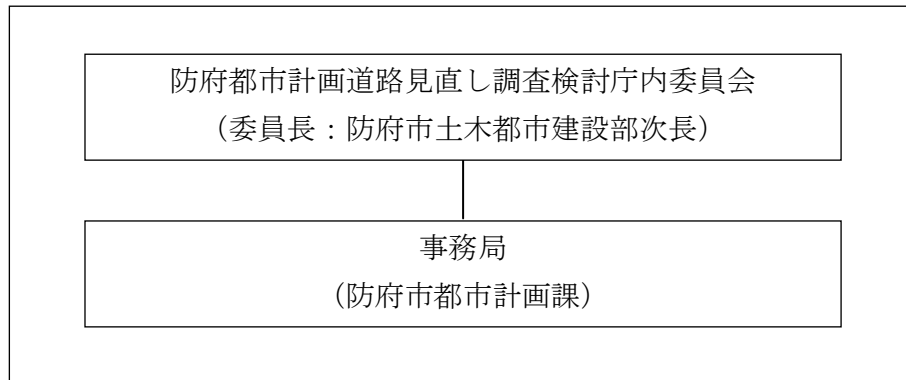
- 4-1 実施方針
- 4-2 調査箇所の選定
- 4-3 調査内容
- 4-4 調査地点図
- 4-5 調査結果

- 5 対象路線（区間）の抽出
 - 5-1 対象路線抽出の考え方
 - 5-2 対象路線の抽出

- 6 対象路線の必要性検証
 - 6-1 交通量推計について
 - 6-2 交通量推計方法
 - 6-3 ネットワークの設定
 - 6-4 モデル再現性の検証
 - 6-4 交通量推計結果

- 7 必要性の検証
 - 7-1 基本的考え方
 - 7-2 必要性の整理
 - 7-3 カルテ作成

3 調査体制



4 委員会名簿等

防府都市計画道路見直し調査検討庁内委員会 委員名簿

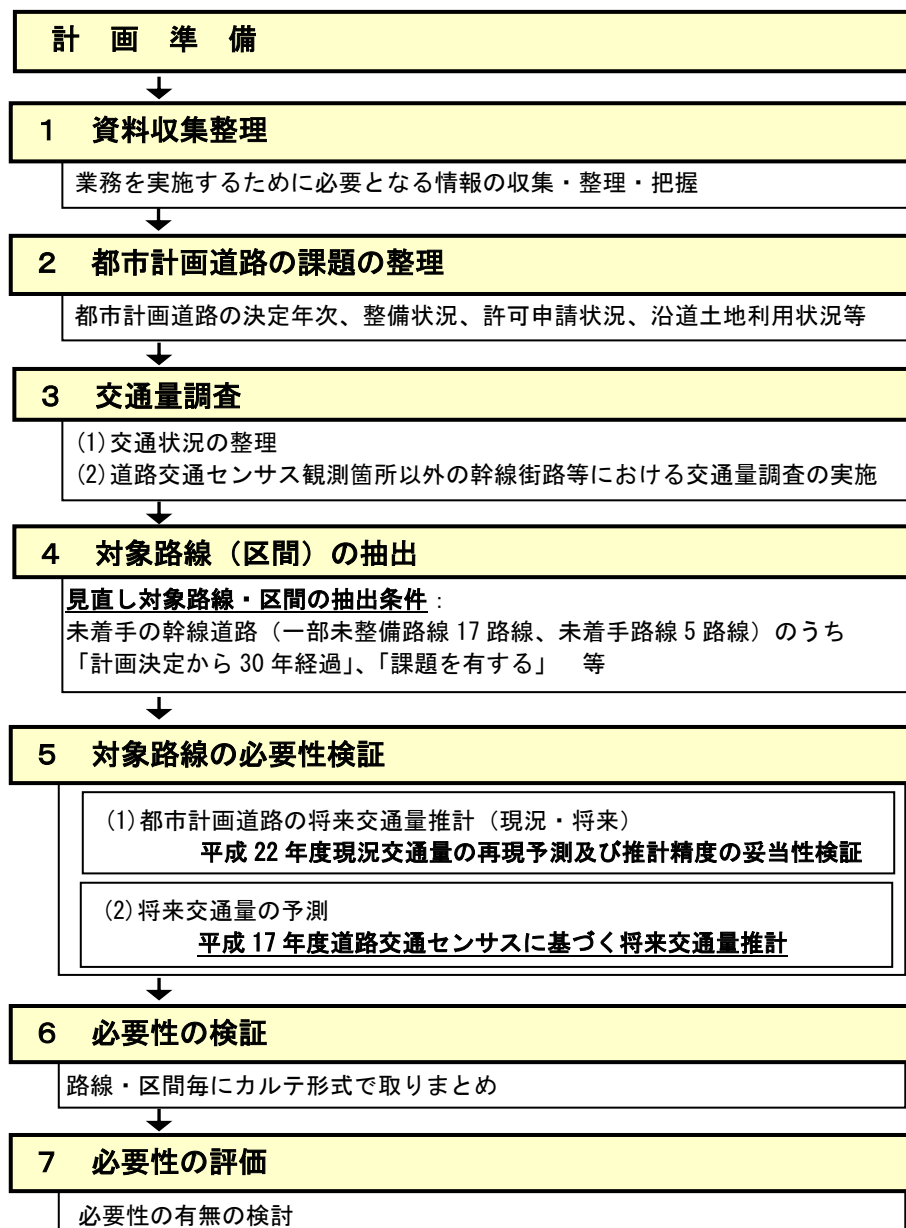
| 区分 | 役職名 | 氏名 |
|-----|---------------|--------|
| 委員長 | 土木都市建設部次長 | 山根 亮 |
| 委員 | 防災危機管理課長 | 湯面 由紀夫 |
| 委員 | 企画政策課長 | 熊野 博之 |
| 委員 | 財政課長 | 伊豆 利裕 |
| 委員 | 生活安全課長 | 橋本 正行 |
| 委員 | 農業農村課長 | 石川 孝弘 |
| 委員 | 商工振興課長 | 神田 博昭 |
| 委員 | 観光振興課長 | 石丸 泰三 |
| 委員 | 道路課長 | 町田 定夫 |
| 委員 | 河川港湾課長 | 伊藤 和幸 |
| 委員 | 文化財課長 | 吉瀬 勝康 |
| 委員 | 上下水道局経営企画課長 | 受田 幸雄 |
| 委員 | 都市計画課幹線道路対策室長 | 山本 孝信 |
| 委員 | 都市計画課長 | 本間 信行 |

II 調査成果

1 調査目的

本調査は、本市の都市計画道路が抱える諸課題に対応するとともに、本市の将来都市像を踏まえた上で、総合的かつ一体的な視点から、本市に現在決定されている都市計画道路の見直しを実施する際の基本的な方針を策定するものである。

2 調査フロー



3 調査圏域図

- ・ 防府市全域
- ・ 人口：119,304人（2014年5月31日現在）
- ・ 面積：188.59km²（2012年12月31日現在）



調査圏域



4 調査成果

1. 防府都市計画道路の現状と課題

1-1. 防府都市計画道路の現状

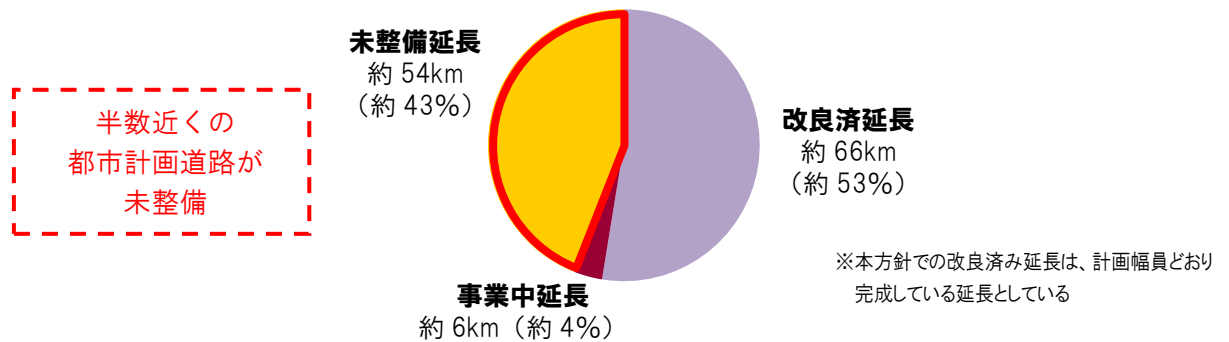
(1) 都市計画道路全体の整備状況

防府市内の都市計画道路の計画延長は約 126km であり、そのうち、改良済み延長は約 66km (53%)、事業に着手している延長は約 6km (4%)、残りの延長約 54km (43%) は未着手となっている。

都市計画道路の整備状況

| | 計画延長 (km) | 改良済延長 | | 事業中延長 | | 未着手延長 | |
|-----|--------------|--------|------|--------|-------|--------|------|
| | | 延長(km) | 整備率 | 延長(km) | 事業中割合 | 延長(km) | 未着手率 |
| 防府市 | 125.520 | 66.155 | 52.7 | 5.585 | 4.4 | 53.780 | 42.8 |

(H26.3.31現在)



都市計画道路の整備状況

(2) 道路種別別の整備状況

都市計画道路のうち、約 98%は幹線街路(約 123km)となっている。区画街路、特殊街路は全延長改良済みで、幹線道路は改良済み延長が約 64km [52%] で、残りの約 6km [5%] は事業に着手中、約 54km [44%] は未着手となっている。

防府市の都市計画道路の整備状況(道路種別別)

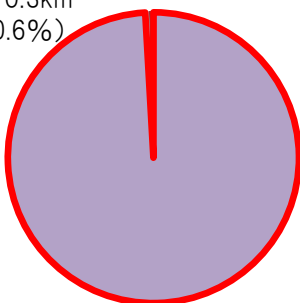
| 道路種別 | 計画延長 (km) | 改良済み延長 | | 事業中延長 | | 未着手延長 | |
|---------|-----------------|------------|-------|------------|-----------|------------|------|
| | | 延長 (km) | 整備率 | 延長 (km) | 事業中 割合 | 延長 (km) | 未着手率 |
| 自動車専用道路 | — | — | — | — | — | — | — |
| 幹線街路 | 122.890 (97.9%) | 63.525 | 51.7 | 5.585 | 4.5 | 53.780 | 43.8 |
| 区画街路 | 2.390 (1.9%) | 2.390 | 100.0 | — | — | — | — |
| 特殊街路 | 0.240 (0.2%) | 0.240 | 100.0 | — | — | — | — |
| 合計 | 125.520 | 66.155 | 52.7 | 5.585 | 4.4 | 53.780 | 42.8 |

(H26.3.31現在)

(3) 経過年数

未整備区間のうち、1983年以前に都市計画決定された幹線街路（計画決定後30年経過）の延長は約53kmで全体の約99%を占めている。

計画決定後
30年未満
約0.3km
(0.6%)



計画決定後
30年経過
約53km
(99.4%)

未整備都市計画道路のうち、
99%が決定後30年が経過

| 決定年次 | 延長 | 構成比 | 経過年数 |
|-------|---------|-------|------|
| 昭和33年 | 31.26km | 58.1% | 55年 |
| 昭和48年 | 12.76km | 23.7% | 40年 |
| 昭和50年 | 2.29km | 4.3% | 38年 |
| 昭和57年 | 7.14km | 13.3% | 31年 |
| 平成5年 | 0.33km | 0.6% | 20年 |
| 合計 | 53.78km | 100% | |

都市計画決定年次の状況

路線別経過年数一覧

| 路線番号 | | | 路線名 | 代表幅員 (m) | 計画延長 (m) | 車線数 | 未整備延長 (m) | 都市計画決定 年月日 | 最終変更 年月日 | 経過年数 | 備考 |
|------|----|----|---------|-------------|-------------|-----|--------------|---------------|-------------|------|------------|
| 区分 | 規模 | 番号 | | | | | | | | | |
| 3 | 3 | 1 | 環状一号線 | 22.0 | 12,970 | 4 | 6,860 | S33.1.24 | H22.10.22 | 55年 | |
| 3 | 3 | 4 | 防府大道線 | 25.0 | 5,460 | 2 | 3,720 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 3 | 5 | 富海大道線 | 20.5 | 22,240 | 4 | 12,760 | S48.4.20 | H23.3.8 | 40年 | |
| 3 | 4 | 6 | 大林寺協和線 | 18.0 | 1,520 | 2 | 1,120 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 4 | 7 | 松崎植松線 | 18.0 | 4,720 | 2 | 2,030 | S33.1.24 | H21.3.3 | 55年 | |
| 3 | 4 | 11 | 新橋宮市線 | 16.0 | 930 | 2 | 930 | S33.1.24 | H21.3.3 | 55年 | 未着手(全線未整備) |
| 3 | 4 | 12 | 大藪新田線 | 16.0 | 2,290 | 2 | 2,290 | S50.12.23 | H14.9.17 | 38年 | 未着手(全線未整備) |
| 3 | 4 | 13 | 牟礼中間線 | 16.0 | 7,930 | 2 | 4,540 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 4 | 14 | 今宿敷山線 | 16.0 | 1,820 | 2 | 1,820 | S57.6.8 | H14.9.17 | 31年 | 未着手(全線未整備) |
| 3 | 4 | 16 | 開出塚原線 | 16.0 | 3,440 | 2 | 810 | S57.6.8 | H14.8.23 | 31年 | |
| 3 | 4 | 17 | 新橋塚原線 | 16.0 | 1,620 | 2 | 1,450 | S57.6.8 | H14.9.17 | 31年 | |
| 3 | 4 | 18 | 新田古浜線 | 16.0 | 1,050 | 2 | 1,050 | S57.6.8 | H14.9.17 | 31年 | 未着手(全線未整備) |
| 3 | 4 | 25 | 大内国衙線 | 16.0 | 2,880 | 2 | 2,010 | S57.6.8 | H14.9.17 | 31年 | |
| 3 | 4 | 26 | 戎町迫戸線 | 16.0 | 1,630 | 2 | 240 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 4 | 27 | 防府富海線 | 16.0 | 5,310 | 2 | 3,170 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 5 | 28 | 駅通り牟礼線 | 12.0 | 2,580 | 2 | 2,330 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 3 | 29 | 赤間通り線 | 25.0 | 870 | 2 | 410 | S33.1.24 | H14.9.17 | 55年 | |
| 3 | 5 | 31 | 大林寺勝間線 | 12.0 | 2,260 | 2 | 1,300 | S33.1.24 | H15.2.25 | 55年 | |
| 3 | 5 | 32 | 大林寺伊佐江線 | 12.0 | 2,250 | 2 | 1,840 | S33.1.24 | H15.2.25 | 55年 | |
| 3 | 5 | 33 | 国分寺鐘紡線 | 12.0 | 1,840 | 2 | 440 | S33.1.24 | H21.3.3 | 55年 | |
| 3 | 4 | 39 | 柳原四辻線 | 16.0 | 330 | 2 | 330 | H5.2.9 | H14.9.17 | 20年 | 未着手(全線未整備) |
| 3 | 4 | 40 | 松崎牟礼線 | 16.0 | 5,210 | 2 | 2,330 | S33.1.24 | H22.10.22 | 55年 | |
| 計 | | | | | 91,150 | | 53,780 | | | | |

(4) 未整備区間の状況

未整備区間の多くは現道の道路改良（車道や歩道の拡幅）を計画しており、新設道路は多くない状況である。



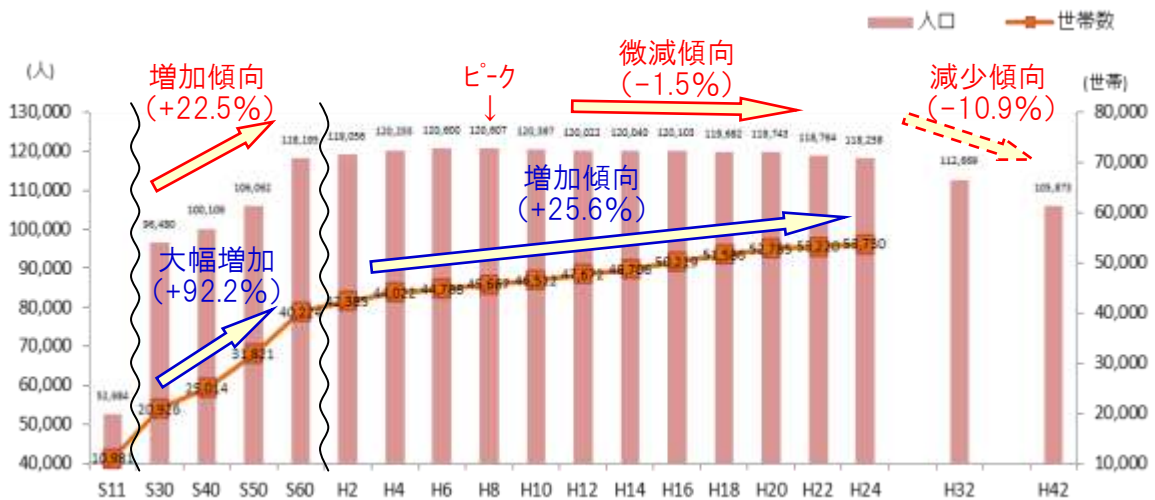
都市計画道路整備状況

1-2. 社会経済情勢の状況

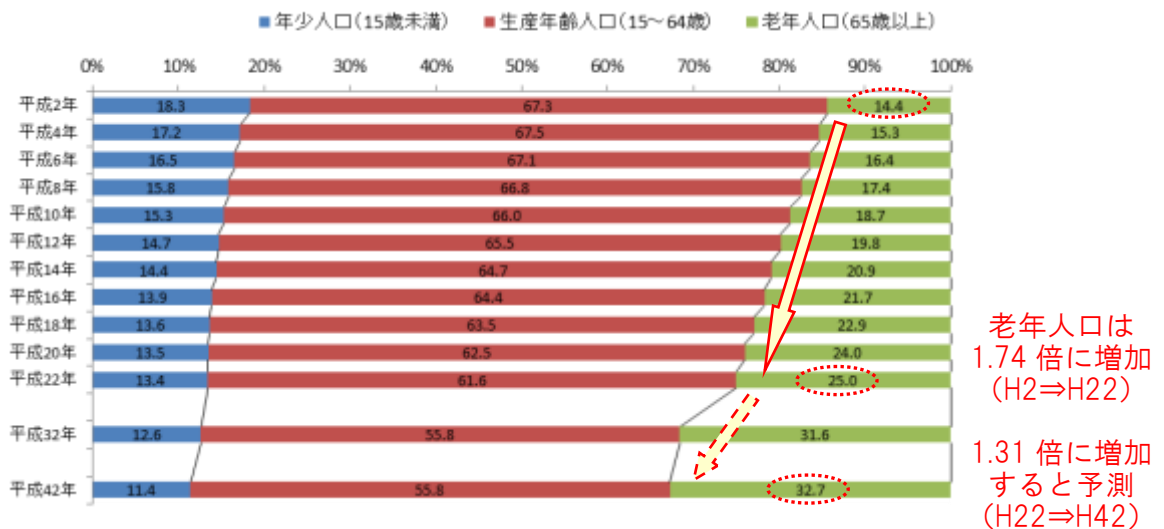
(1) 防府市の人口推移・高齢化率

防府市の人口は、都市計画道路の多くが決定された昭和30年代～50年代は増加傾向にあったが、近年は平成8年をピークに減少に転じており、平成42年には約10万人まで減少すると予測されている。

また、少子高齢化の傾向はすでに顕著に現れており、平成42年には高齢者が3人に1人を占めると予測されている。



資料：防府市統計書、市民課、国立社会保障・人口問題研究所
人口と世帯数の推移



資料：市民課、国立社会保障・人口問題研究所
年齢3区分別人口構成比の推移

2. 都市計画道路見直し方針の検討

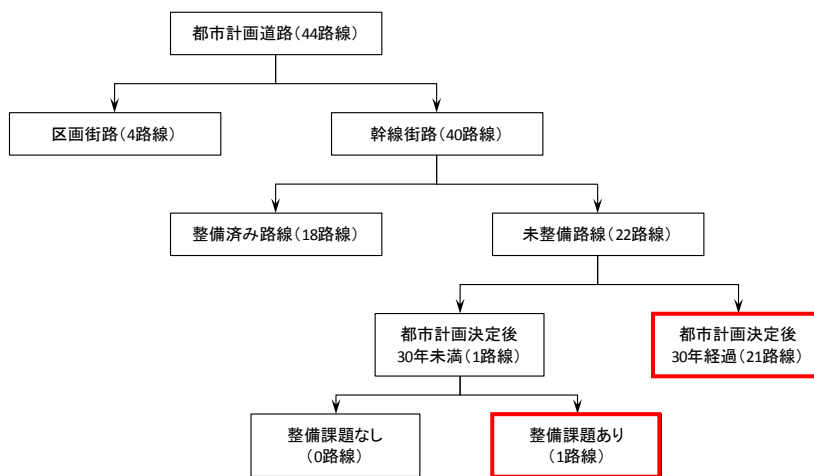
2-1. 対象路線・区間の選定

見直し対象路線の抽出における基本的考え方および抽出した見直し対象路線を以下に示す。

- ① 見直しは、都市計画道路のうち幹線街路を対象とする。
- ② 見直しの検討対象路線(区間)は、未着手区間を有するもののうち、以下のいずれかに該当するものとする。
- ・ 計画決定から30年以上を経過したもの
 - ・ 都市計画道路の区域内に、歴史的文化遺産、大規模建築物等があるもの
 - ・ 地形的な要因等により道路構造上問題のあるもの
 - ・ その路線が整備されることで周辺の土地利用に多大な影響を与えるもの
 - ・ その他個別の課題を抱えているもの
- なお、整備済みの路線(区間)についても、課題を有するものについては検討対象に加えるものとする。

2-2. 対象路線の抽出

上述した対象路線抽出の考え方にに基づき、未着手の幹線街路（一部未整備路線 17 路線、未着手路線 5 路線）で、計画決定から 30 年経過または課題を有するもの等を見直し対象路線（区間）として抽出した。

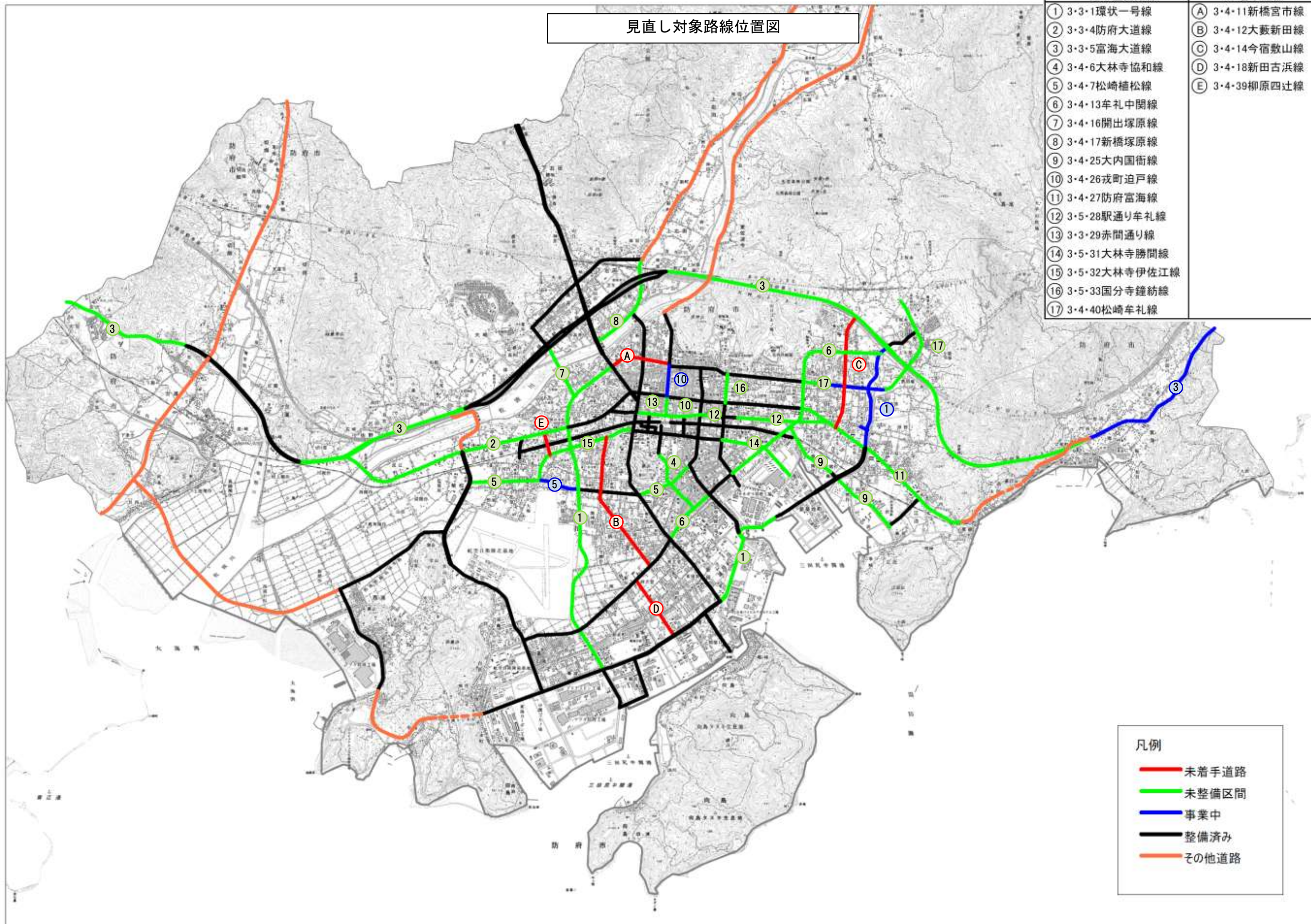


対象路線一覧

| 都市計画決定年次 | 経過年数 | 路線名 |
|----------|------|--|
| 昭和 33 年 | 55 年 | 環状一号線、防府大道線、大林寺協和線、松崎植松線、新橋宮市線、牟礼中関線、戎町迫戸線、防府富海線、駅通り牟礼線、赤間通り線、大林寺勝間線、大林寺伊佐江線、国分寺鐘紡線、松崎牟礼線（14 路線） |
| 昭和 48 年 | 40 年 | 富海大道線（1 路線） |
| 昭和 50 年 | 38 年 | 大藪新田線（1 路線） |
| 昭和 57 年 | 31 年 | 今宿敷山線、開出塚原線、新橋塚原線、新田古浜線、大内国衙線（5 路線） |
| 平成 5 年 | 20 年 | 柳原四辻線（1 路線） |

見直し対象路線位置図

| 一部未整備路線 | 未着手路線 |
|-----------------|---------------|
| ① 3・3・1環状一号線 | Ⓐ 3・4・11新橋宮市線 |
| ② 3・3・4防府大道線 | Ⓑ 3・4・12大藪新田線 |
| ③ 3・3・5富海大道線 | Ⓒ 3・4・14今宿敷山線 |
| ④ 3・4・6大林寺協和線 | Ⓓ 3・4・18新田古浜線 |
| ⑤ 3・4・7松崎榑松線 | Ⓔ 3・4・39柳原四辻線 |
| ⑥ 3・4・13牟礼中関線 | |
| ⑦ 3・4・16開出塚原線 | |
| ⑧ 3・4・17新橋塚原線 | |
| ⑨ 3・4・25大内国街線 | |
| ⑩ 3・4・26戎町迫戸線 | |
| ⑪ 3・4・27防府富海線 | |
| ⑫ 3・5・28駅通り牟礼線 | |
| ⑬ 3・3・29赤間通り線 | |
| ⑭ 3・5・31大林寺勝間線 | |
| ⑮ 3・5・32大林寺伊佐江線 | |
| ⑯ 3・5・33国分寺鐘紡線 | |
| ⑰ 3・4・40松崎牟礼線 | |



凡例

| | |
|---------------------------------------|-------|
| — | 未着手道路 |
| — | 未整備区間 |
| — | 事業中 |
| — | 整備済み |
| — | その他道路 |

2-3. 必要性の評価・検証

(1) 評価方法

見直し対象路線（区間）の必要性の検証・評価は、以下のように実施した。

抽出した 22 路線について、上位計画との整合、道路に求められる多様な機能（交通機能、空間機能、市街地形成機能）とその路線（区間）を廃止した場合の道路の連続性、機能を代替する路線の有無、個別課題を検証し、その必要性について総合的に評価を行った。

- 見直しに当たっては、その路線（区間）ごとに、未着手の理由や整備にあたっての課題を整理するとともに、道路としての必要性の検証を実施した。
- 検証は、以下の項目について実施した。
[整理項目]
 - ① 路線概要（上位計画での位置づけ、周辺土地利用の状況など）
 - ② 当初の都市計画決定の趣旨
 - ③ 見直しの理由、整備の課題
 - ④ 路線の機能（交通機能、空間機能、市街地形成機能）
 - ⑤ 道路の連続性、配置バランス
 - ⑥ 機能を代替する路線の有無
- 必要性については、将来都市像との整合、多様な道路機能、道路ネットワークの連続性、機能代替路線、個別課題などを検証し、総合的に評価した。